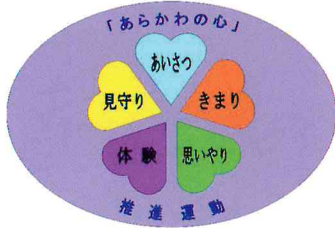


「あらかわの心」ニュース



「あらかわの心」推進運動
シンボルマーク

今号では、参加団体の活動報告を中心にお届けします。困難な状況が続いていますが、どの団体も感染症対策を徹底しながら活動している様子をお伝えします。



第 **32** 号

令和4年
3月1日発行

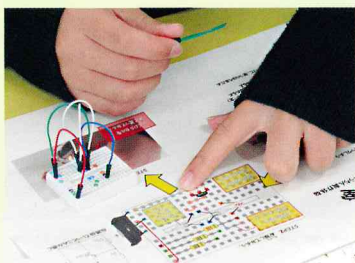
「あらかわの心」推進運動とは？

「まず大人が行動する」ことで子どもの手本となり、「大人と子どもが一緒に行動」し、「地域ぐるみで子どもを見守り育てる」という3つの視点に基づき、「あいさつ・きまり・思いやり・体験・見守り」の心をつなぐ5つの取り組みを実践することで、大人も子供もお互いに尊重し、共に生きる地域社会の実現を目指す運動です。

令和3年12月19日、都立荒川工業高等学校の協力により「電子ちょうちん製作体験」を実施しました。

子どもたちは、同校の先生や生徒の皆さんのサポートを受けながら、半紙にイラストや文字を書き入れ、ちょうちんの骨組みとなるアルミ骨に丁寧に貼り付けました。電子回路の製作では、真剣な眼差しでLEDやトランジスタを慎重に配置していきました。電子回路をちょうちんに組み込み、点灯を確かめると、教室のあちこちから「点いた!」「出来た!」と喜びの声が聞こえてきました。

子どもたちが製作したちょうちんは、同校エントランスに展示され、暖かい灯りをともしてくれました。今回の体験を機に、身の回りの電子機器の仕組みに興味を持ってほしいです。



慎重に組み込み



製作中の様子



展示されたちょうちん